



お掃除が上手なこぶしっ子！！

中野小学校の子どもたちは、本当にお掃除が上手です。

広い校舎を少ない人数でお掃除しなければなりません、誰一人として弱音をはくことなく、いつも一生懸命お掃除をしています。動きが止まっている子は一人もいません。

誰かのため、みんなのためになることに真剣になって取り組める子どもたちの姿を見ていると、なんて素晴らしい子たちなんだろうという気持ちでいっぱいになります。



「子どもは自然に親に似てくるものである。」

最近、『伸びる子どもは〇〇がすごい』榎本博明 著』という本を読みました。その中にこんな言葉がありました。

『親自身は自覚していないことが多いが、子どもは自然に親に似てくるものである。感情コントロール力が乏しく、すぐに感情を爆発させる子どもの家庭には、すぐに怒りだす親がいたりする。やはり感情コントロール力が乏しく、落ち込みやすい子どもの家庭には、何かにつけて悲観的で自己効力感の低い親がいたりする。(中略)粘り強く、頑張り屋の子ども家庭には、やはり頑張る姿勢をもつ親がいるものである。どんなに困難な状況でも諦めずに頑張り続ける子どもの家庭には、レジリエンス(しなやかな強さ)の高い親がいるものである。』また、『親が日常的に、「何とかなる」「やってみないとわからない」「やるだけやってみよう」「とにかく頑張ってみよう」などと前向きな言葉を口にしていると、子どもも前向きに頑張れるようになる。』

私にも3人の子どもがおりますので、この本を読んだ後、猛烈に反省いたしました。

子どもの成長のためには環境が大切だとはよく言われますが、人・人的環境こそがもっとも重要なかもしれません。

どんな言葉やふるまいが大切なのかではなくて、目の前の子どもをどんな人間に育てたいかという根っこの部分がないと、その時々で関わりが違ってきてしまうのかもしれないね。

【校長のつぶやき】

- 6年生の佐藤 玖龍(さとう くりゅう)君は、家からクワガタムシをもってきてくれました。学校で飼っているカブトムシやクワガタムシの仲間にしてあげたかったですね。やさしい一。

